

秋田県事業実施地域

再生課題：森林の再生



もり よし さん ろく こう げん
森吉山麓高原

**再生
目標**

草地造成事業（昭和40年代）以前のブナ林等を再生し、クマゲラの生息に適した環境を拡大する

DATA

エリア：国指定森吉山鳥獣保護区
所在地：秋田県北秋田市
着手：H16

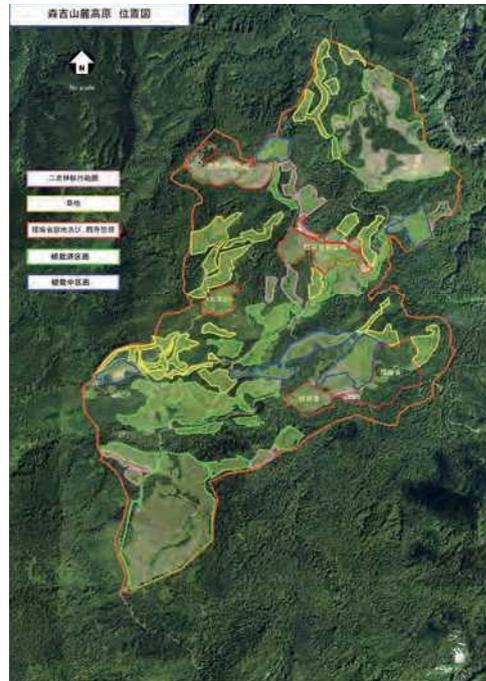
森吉山麓高原自然再生協議会

概要：かつて草地として開発された森吉山麓高原を広葉樹林に再生し、周辺の自然環境とともに保全していくことを検討。

設立日：H17.7.19
構成員数：15
全体構想作成日：H18.3.31
実施計画作成日：
H18.10.20（森吉山麓高原／秋田県）
H21.4.27（第一期変更）
H23.3.23（第二期／秋田県）
（H 27.1 現在）



事業箇所内の草地



凡例	
二次林移行区画	植栽済区画
草地	植栽中区画
環境省敷地・既存施設	事業対象区域

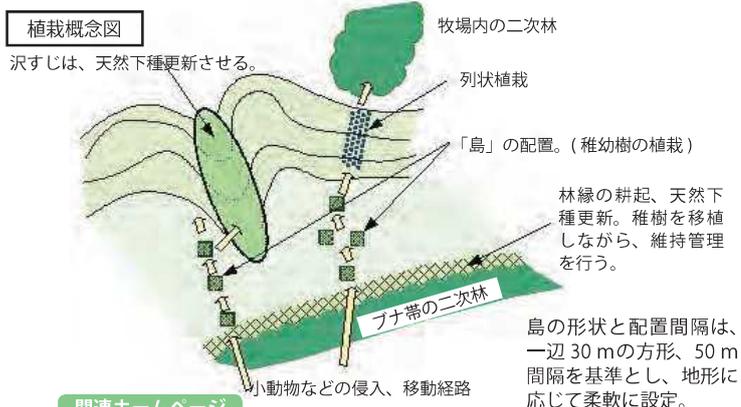
ブナをはじめとする落葉広葉樹林やクロベ、スギ、キタゴヨウなどの常緑針葉樹林が広がる森吉山麓高原周辺は、本州では数少ないクマゲラの繁殖地となっています。

しかし、昭和40年代から約490haのブナ林が牧草地に改変され、野生動植物の生息・生育域が分断・縮小されました。このため、周辺の森林生態系保護地域や「緑の回廊」と連続する広大な森林を形成し、豊かな自然環境の指標ともいえるクマゲラやそのほかの動物の生息と安定した繁殖に繋げるため、失われたブナを主体とする広葉樹林の再生に向けた取組みを進めています。

自然再生の手法

- ▶ ブナなどの広葉樹の植栽→①
- ▶ 多様な主体の参画による再生の推進→②

草地内で島状（列状）に土壤改良などを行い、そこにブナなどの植栽を実施します。将来、植栽木が生長して母樹となり、その母樹からの下種更新などにより樹林の連続性が確保されていくことで、コリドー（回廊）の役割を果たすことを期待します。



① ブナなどの広葉樹の植栽

面的な広がりが残っている区画を中心に、引き続き広葉樹を植栽します。植栽後は自然の推移に任せることを原則とし、必要に応じて下刈りや補植などを検討します。

なお、自然再生に用いる苗や種子は、地域遺伝子資源保全の観点から事業地周辺由来のものとなります。

② 多様な主体の参画による再生の推進

森林の再生には非常に長い期間を要することから、多様な主体の参画を求めながら再生の取り組みの継続を図ります。そのためには、保全意識の醸成が必要であり、現地での自然観察会とのタイアップによる植樹の実施や、企業等によるCSRの活動の場としての展開を図ります。



8年経過の植栽地

モニタリングによる検証

植栽や天然下種更新補助作業を行っている箇所での活着率・生長量・獣害の有無・発生稚樹の状況などを調査し、また植栽木の枯死が認められた場合は、その原因を特定するよう努める。

植栽や天然下種更新補助作業の成果を評価し、それを基に実施方法の改善と併せ、実施計画の見直しに反映させる。